

令和4年度 自己評価報告書

令和5年3月7日

学校法人小泉学園 東京いずみ幼稚園

1. 本園の教育理念・教育方針・教育目標

【教育理念】

幼児期に適切な教育を与え、優れた人格を育む

【教育方針】

①適時教育の充実

年齢や発達に応じて教育内容を豊富にし、適切な指導法で子供が主体的に活動に取り組めるようにする。

②チームティーチングの実践

クラス担任を中心に、専任講師、担任交替（年に数回、一週間程度）、外部機関などが連携協力し、きめ細やかな指導を行う。

③年間行事の活用

年間の諸行事を活用することで豊かな生活体験の場を与え、幼児の活動意欲と技能の向上を図る。

【教育目標】

- ・健康な身体
- ・素直な心
- ・豊かな感性
- ・優れた知力
- ・温かい友情
- ・揺るぎない自立
- ・創造的な協働

『いずみの子』 ※園児に教育目標を分かりやすく伝え、皆で唱和する訓辞として制定

- ・強い体と心を持つ。
- ・仲良く遊ぼう。
- ・よく考えよう。
- ・豊かな心を持つ。
- ・今日も一日元気に過ごしましょう。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園が掲げる教育理念・教育方針のもと、教育目標の達成を目指し、子供の育ちを一番に考えた質の高い教育を実践することを目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程・カリキュラム理解を深め、実践力を高める	B	<ul style="list-style-type: none">・担任交替や年間行事でのクラスの垣根を取り払った活動の展開などを通して、教職員が教育課程ならびにカリキュラムへの理解を深めることができた。・キャリアによっては行事の担当能力およびカリキュラムの実践力には改善の余地があるので、引き続き主任等の支援を受けながら実践力を高める必要がある。
2	教育の質向上のために、園内・園外研修を充実させる	A	<ul style="list-style-type: none">・外部研修の一つである漢字教育研修は前年に引き続き中止となってしまうが、園内で研修を行った。・姉妹園での研修は、昨年度と比べて機会を多く設け、該当学年同士の教育研修の充実を図った。・歌唱やクラスでの指導の様子を動画で共有し、オンライン上でコメントをし合うことで気づきを得る仕組みにより、指導

			をする上での目標設定の標準化が図られた。 ・園内研修は、園の方針に基づいて、適時教育に関する知識や技術向上に資する研修を計画的に実施した。
3	コロナ禍に対する社会の変化に対応し、園運営の適正化を図る	A	・各種制限のあった日常保育および行事等の制限について見直し、子どもの育ちを第一に考えた園運営に極力戻していくようにした。その結果、日常においてはほぼ制限はなくなり、計画された行事は全て実施できた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…あまり成果がなかった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	上記の評価項目については、概ね成果を挙げることができた。今後も、園全体として自己評価に取り組むことで、園運営の改善を継続することを確認した。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…あまり成果がなかった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題項目	内容・具体的に取り組む方法
1	教育内容の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ研修や振り返りを通して、指導法の更なる改善を図る。 ・教育内容について検証を行い、教育効果の高いエビデンス（科学的根拠）ある教育方法に磨きをかける。
2	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹園との合同研修や職階に応じた研修を実施し、学年や職階を跨いだ教職員間の協力体制を一層強化する。 ・各教職員の特性とキャリアを踏まえて、教師としての能力向上の機会を創出する。特に来年度は新人教育に力を入れ、指導教諭のもと指導と支援の充実を図る。
3	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等の緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアルの充実と教職員の意識向上・行動実践を図る。 ・バス安全運行計画の見直しやBCP策定など様々な状況に対応したマニュアル整備に当たる。 ・園内環境を点検し、必要に応じて修繕を行う。

東京いずみ幼稚園学校評価委員会

園長 小泉 敏男

副園長 小泉 貴史

事務長 吉野 秀幸

教諭 瀧口 久美子

以上

令和4年度 学校関係者評価報告書

令和5年3月17日

学校法人小泉学園 東京いずみ幼稚園

出席者 【学校関係者評価委員会】 佐藤 弘子、矢澤 憲治、河野 吉孝
【東京いずみ幼稚園職員】 小泉敏男園長、小泉貴史副園長、吉野秀幸事務長

◆自己評価について

- ・令和4年度の自己評価について、副園長から自己評価報告書に基づいて説明を行った。また、添付資料としてパンフレットなどの資料を付した。

◆学校関係者評価委員の意見

- ・今年度も引き続きコロナ禍が続く中、園長先生の揺るぎない信念のもと、子供達のがびやかに成長していく姿が見られた。特に今年の年長児は、入園が6月に遅れた学年であるにも関わらず、大変良い成長ぶりを行事などで感じる事が出来た。
- ・園の掲げる教育理念・教育方針・教育目標を実現するために、具体性のある教育方法を開発・実践することが園全体で共有されており、それを支える教職員の資質向上にも努めていることが窺える。今後は職員定着とともに更なる実践力向上が期待される。
- ・長きにわたったコロナ禍もようやく平常化へ向かうことになったが、幼児期は短くそして代替りの利かない大切な期間である。この大切な時期にコロナ禍に直面した家庭にとって、教育機会を大切にする園の存在は家庭にとって心強かったと視察する。
- ・今後も、「いずみ」らしい子供の育ち第一の園づくりを継続し、更なる発展を願いたい。

以 上